

議決権行使レポート

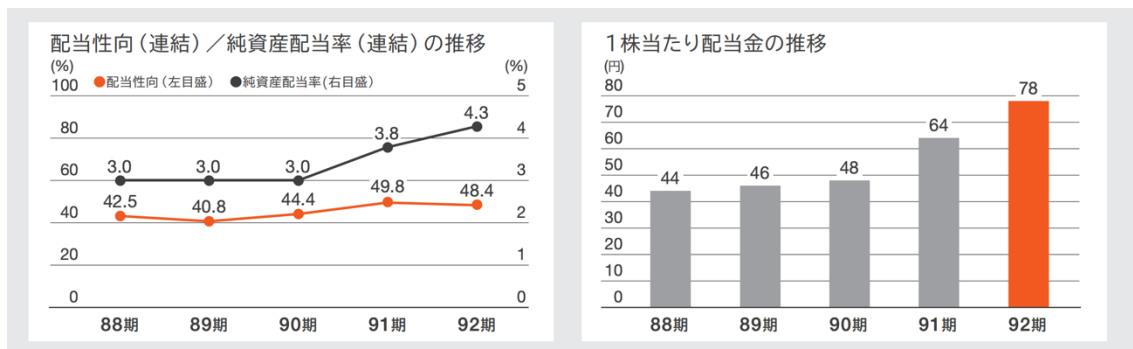
証券コード 6454

会社名 マックス株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役6名の選任の件			
山本 将仁 氏	○		
小川 辰志 氏	○		
角 芳尋 氏	○		
石井 英之 氏	○		
加藤 浩二 氏	○		
倉澤 佳子 氏	○		
第3号議案 取締役に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬決定及び取締役報酬額改定の件	○		
第4号議案 取締役に対する役員賞与支給の件	○		

上記の推奨をした理由

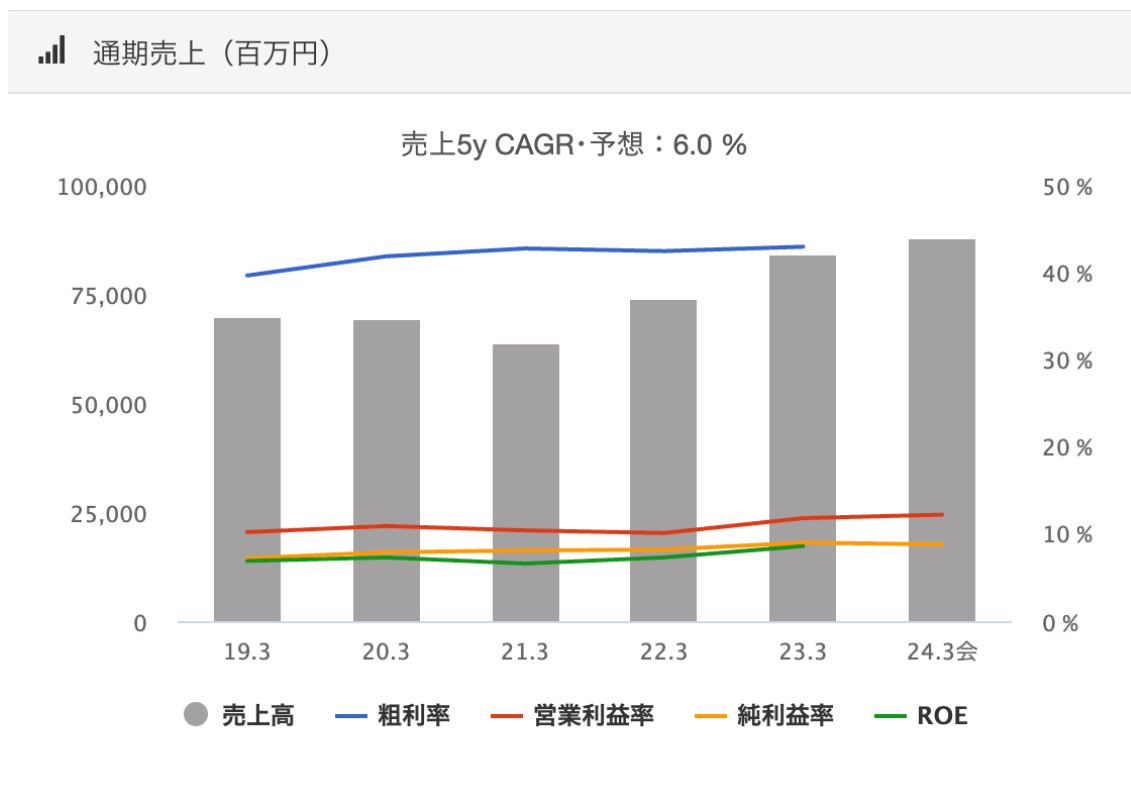
- 第1号議案について



剰余金処分の件については、ISSの方針に則って考え、賛成とした。まず、配当性向については上のグラフから5期連続で40%という高めの数値を維持しており、企業の財務に悪影響をあまり与えない範囲で十分に投資家に利益を還元できていると言える。また、1株当たり配当金も年々上がっており、当社の利益配分に関する基本方針に沿った経営を行っているととも言える。この2つの要因から、賛成とした。

- 第2号議案について

当社は監査等委員会設置会社に該当するため、ISSの監査等委員会設置会社の判断基準に則って判断した結果、総じて賛成とした。



上のグラフから、ROEについては5年連続で5%以上となっていることがわかる。また、政策保有株式の過度な所有は認められず、株主総会後の取締役会に占める社外取締役の割合や株主総会後の取締役会における女性取締役に關する規定に照らし合わせても問題ない。また、ISSの独立性基準を満たす取締役会における社外取締役の割合規定も満たしており、今回選任対象となっている社外取締役候補の倉澤佳子氏は新任であるため、前会計年度における取締役会の出席率の規定の対象とはならない。以上の理由より、6名全員の選任に關して総じて賛成とした。

- 第3号議案について

この議案に關しては、社外取締役及び監査等委員である取締役に除いた当社の取締役に對して固定報酬枠とは別枠にて、新たに譲渡制限付株式の付与のための報酬の支給することについて、当社の取締役に当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに株主との一層の価値共有を進めることを目的とするという明確な理由が挙げられていることから、ISSの取締役報酬枠の増加の判断基準に則って賛成とした。

- 第4号議案について

この議案に関しては、今回の取締役に対する役員賞与支給の提案は当期の業績等を勘案したものであるとされており、ISSの役員賞与の反対判断基準である「株価の極端な下落や業績の大幅な悪化など経営の失敗が明らかな場合や、株主の利益に反する行為に責任があると判断される者が対象者に含まれる場合」に該当しないと考えられたため、賛成とした。

参考文献

ISS 2023年版 日本向け議決権行使助言基準

<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>

マックス株式会社 2023年定時株主総会招集通知

<https://www2.jpx.co.jp/disc/64540/140120230522578820.pdf>

マックスの業績・財務（最終閲覧日：2023年6月27日）

<https://www.buffett-code.com/company/6454/financial>

マックス株式会社 コーポレートガバナンス（最終閲覧日：2023年6月27日）

<https://www.max-ltd.co.jp/about/sustainability/governance/corporate.html>